



2024年8月号
第34号

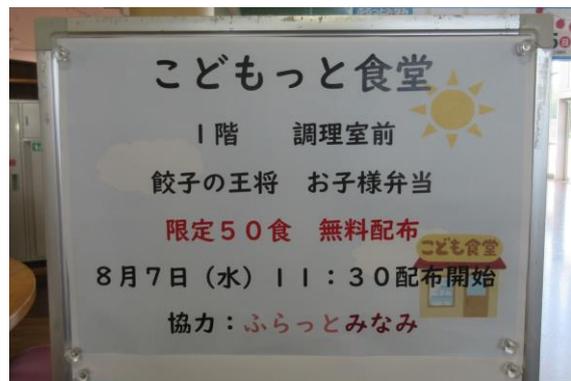
地域支え合い推進員だより

◆夏休みにも子ども食堂が開催されました◆

子ども食堂は、地域のボランティアが子どもたちに無料又は安価で栄養のある食事を地域の人々とともに食べる場の提供をしています。小牧市内では、日頃から各地で様々なボランティアによる子ども食堂が開催されています。

給食のない夏休みも、子どもたちの居場所として各地で子ども食堂が開催されました。そのなかで今回は、小牧南小学校区で活動している「こどもっと食堂」をご紹介します。

普段は毎月第4土曜日、北外山区にある「とよめサロン」で子ども食堂を開催している「こどもっと食堂」ですが、8月7日(水)には夏休みの特別企画として、ふらっとみなみを会場に(株)王将フードサービス提供のお子様弁当の配布を行いました。11時30分からの配布開始と同時にたくさんの方が来てくださいました。



親子や友達同士で会話をしながら楽しく食事をして、「おいしい!」とたくさんの笑顔が溢れていました。

片づけのときに子ども達はボランティアの方へ「ごちそうさまでした」とお盆を返しにいき、ボランティアも子どもたちも笑顔になっていて、地域の繋がりの場にもなっていると感じました。

「こどもっと食堂」は以前、持ち帰りのお弁当提供でしたが、今年度より会食形式を開始しました。

代表の長谷川さんは、「本当に食事に困っている子は、恥ずかしさや情報が得られず簡単に来てくれないと思う。継続して活動し、子ども伝いで情報が広がり、賑やかになることで一人でも多くの食事に困っている子が来てくれたらと思う」と話してくださいました。



小牧市内の子ども食堂はこちらです。→



◆地域で活躍する企業の方へ、インタビュー-VOL.4◆

地域支え合い推進員は、様々な企業と連携して支え合いのまちづくりをしています。地域貢献をしている企業をみなさんに知ってもらいたいと思い、小牧市で地域貢献活動をされている企業を紹介しています。今回は、自社で栽培した野菜を子ども食堂へ提供しているCKD(株)の小牧農園で働く方々と人事部の西崎さんにお話を伺いました。



↑CKD 小牧農園

農園では現在、オクラやピーマン、ミニトマトなど旬の野菜が栽培されていました。生育が上手くいかないときもありますが、その都度対応策をチームで考えながら工夫しています。

農場長の濱本さんと小林さんは、「子ども食堂の方々からの『おいしかった』との声や、調理された食材や料理を皆さんにおいしく食べてもらっている写真を見ることが、社員のやりがいに繋がっている」とお話ししてくださいました。



←CKD 小牧農園の皆さん

CKD(株)では、令和4年10月から、障がいをお持ちの社員の方々がソーシャルファームわーくはびねす農園で野菜の栽培を始めました。収穫した野菜は、社内食堂での使用や社員へ配布するという取り組みを行っています。

また、安定して野菜の収穫ができるようになり、地域貢献を通し社員のモチベーションアップを目的に、令和5年11月から子ども食堂への野菜提供を開始しました。



→ハーブの収穫中です！

また、西崎さんは、今後も「『野菜作りを通じて自分らしく働くこと』を前提に、良い品質のものを生産して地域の皆さんに喜んでもらいたい」と話してくださいました。

社員の方々の真摯な仕事への取り組みが、地域貢献に繋がっているのだと感じました。



小牧市社会福祉協議会 地域福祉課 地域係 地域支え合い推進員

〒485-0041 小牧市小牧五丁目 407 番地 ☎ 65-7051(直通)